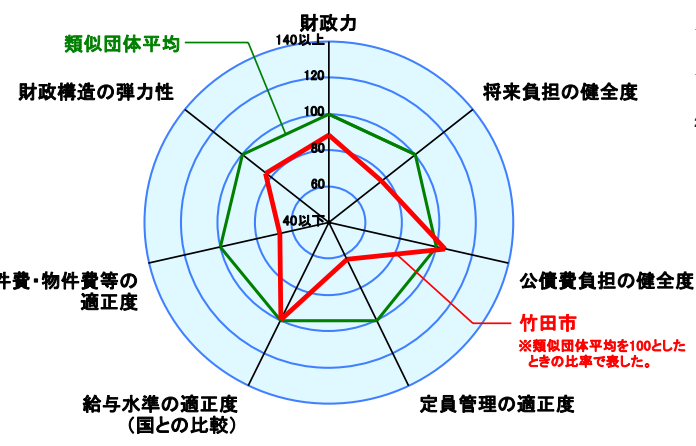
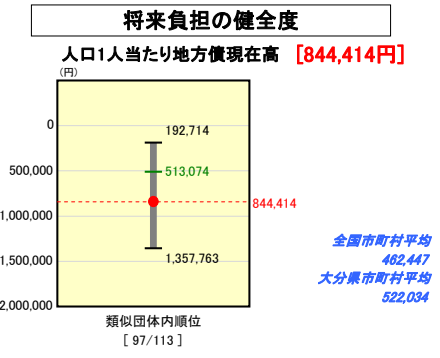
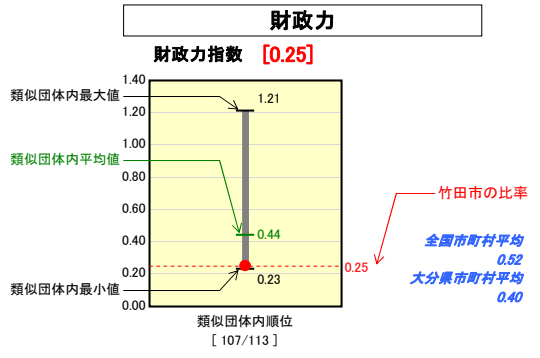


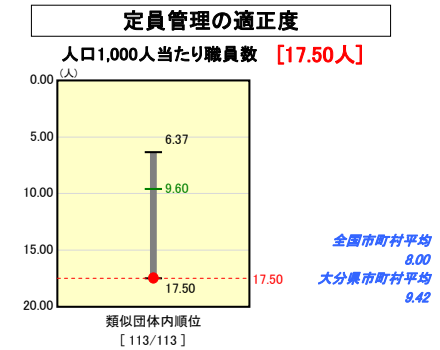
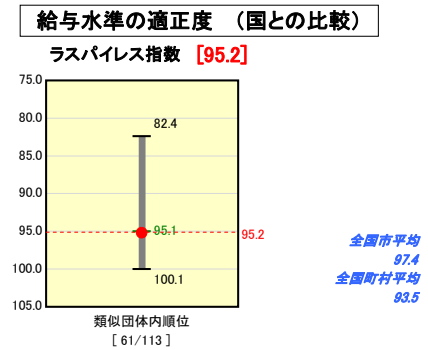
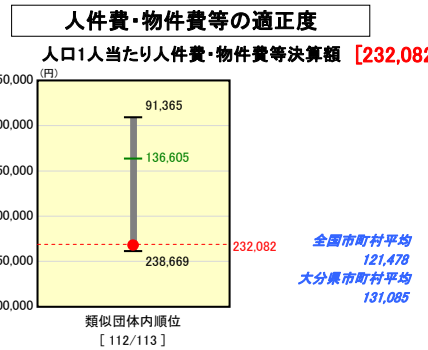
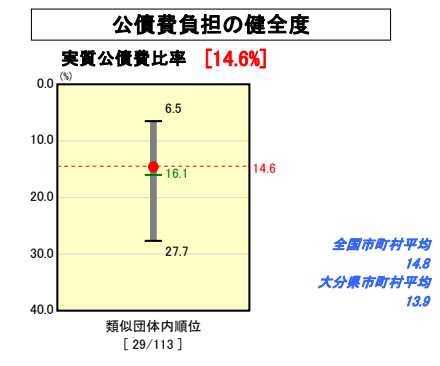
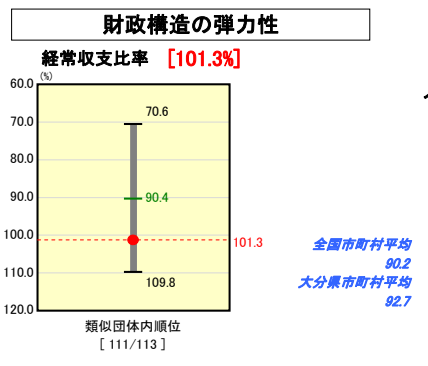
# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 大分県 竹田市

人口	27,479	人(H18.3.31現在)
面積	477.67	km <sup>2</sup>
歳入総額	23,078,689	千円
歳出総額	23,032,171	千円
実質収支	71	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
過疎化による人口減や全国平均を上回る高齢率に加え、基幹産業である農林業が衰退傾向にあること等により、財政基盤が脆弱で、結果、類似団体平均・県内市町村平均を下回っている。今後も地方経済の状況や国の動向に留意しつつ、「竹田市行政改革大綱」に沿って事務事業の見直し・効率的な財政運営を進めていく。

**【経常収支比率】**  
平成17年度決算については、平成17年4月1日市町合併に伴う経常経費の増(H16年度支出、退職手当組合加入等による)により経常収支比率が100%を超える結果となった。今後も財政構造の硬直化が懸念されるため、「竹田市行政改革大綱」を着実に推進し、自主財源の確保に努めるとともに、「歳入に見合った歳出」を基本とし、内部管理経費の削減や補助金の見直し等、財政の健全化を図る。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均は下回っているが、今後大規模事業が予定されているため増加する恐れがある。不要不急な事業は極力実施せず、市民ニーズ・行政需要実現に即した事業を厳選し、起債発行の抑制に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
これまで社会資本の整備(道路整備等)を積極的に行ってきたため、地方債現在高は平均を大きく上回っている。次年度以降も合併特例債借入による基金積立やケーブルテレビ事業による起債借入を予定しているため、不要不急な事業は極力実施せず、市民ニーズ・行政需要実現に即した事業を厳選し、起債発行の抑制に努める。

**【ラスパイレス指数】** 行政改革により、全国市平均は下回っている。今後もより一層の人員費適正化を進めていく。

**【人口1,000人当りの職員数】**  
全国・県内平均を大きく上回り、類似団体でも最下位にある。これまでも退職者不補充等による職員数の削減を図ってきたが、市町合併に伴い、消防職員が加入したことも要因として考えられる。今後も行政改革実施計画や定員管理計画に基づき、適正水準への見直しを図っていく。(平成27年度までに約23%削減予定)

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
全国・県内平均を大きく上回り、類似団体でも下位にある。その要因として人件費が多くを占めており、後は行政改革実施計画や定員管理計画に基づき、適正水準への見直しを図るとともに、物件費の経常経費削減に努める。